



そよかぜ・5月

令和3年5月20日

箱根町立仙石原幼児学園

若葉の緑鮮やかな箱根山にヤマフジやヤマツツジが彩りを添えています。

各地で今年の梅雨入りは早く、関東も今日にも梅雨入りをしそうなお天候です。仙石原は、濃い霧や雨が多く、じめじめした日々が続きますが、体調に気をつけ、健康に過ごせるようにしていきましょう。

雨が上がると、戸外に出て、ボール遊びやハンターごっこ、スクーターや三輪車、砂遊びなど、思い思いの遊びをする子どもたちです。そんなエネルギーに遊ぶ子どもの姿から、

0.1歳児の新入園児もようやく慣らし保育が終わり、担任と信頼関係ができて、安心して過ごす様子が見られます。慣らし保育の1か月半の間には、様々な成長が見られ、離乳食が次の段階に進んだり、しっかり歩けるようになったりしています。月齢が小さいほど成長は早く、一日一日を大事にご家庭の皆さんと成長の喜びを共感していきたいと思ひます。

屋根より高いこいのぼり～♪

5月の初め、4歳児が作りたてのこいのぼりをもって、ホールで走り回っておよがせていました。次の瞬間、2階のベランダでなにやらこいのぼりの棒を振っていました。

「一緒におよがせよう!」「一緒!一緒!」「泳いでるねえ!」と嬉しそう!

よくよく見てみると、子ども目線で園庭のポールと自分で作った棒を合わせ、大きなこいのぼりと手作りこいのぼりを一緒に泳がせているではありませんか…

もしかして、ホールで走り回っているうちにこの発想がひらめき、誰かが「ベランダに行ってみよう」と言ったのかなと思ひました。

子ども目線で見ると、この世界にはもっとももっとわくわくすることがあり、「子どもの目線に立つ」意味の奥深さを感じ、もっと子どもに近づきたいと思ひました。それと共に、絵本になりそうな出来事がたくさんあるんだな!ときらめきました。



盛りだくさんな一日(3～5歳児)

毎年、懇談会と親子ハイキングを同日で行ってききましたが、今年は家庭教育講座も加え、ぎゅっと凝縮した実りある一日にしました。

☆懇談会

担任から、今年のクラス運営や大切にしていきたいこととお話しました。

☆家庭教育講座

5歳児…講師：二見指導主事「就学に向けて」

★励ましの中で挑戦し、やり遂げる体験を通して、自信をもって行動できるようになる

★子どもが育つ魔法の言葉(ドロシー・ロー・ノルト)

4歳児…講師：石井教育センター長

「誇り高き4歳児～4歳の壁と向き合う」

★“甘やかし”と“甘えさせ”の違いから十分に甘えさせてあげ、スキンシップをたっぷりすることで人間関係の基礎が培われる

★タブレット・スマホ依存症…遊べない子どもになる、脳の発達を妨げるので注意

貴重なお話を伺うことができました。

☆親子ハイキング(講師：箱根ビジターセンター築紫さん)

5歳児…校庭で自然物を使って遊びました。葉笛、木片を使った道身近な自然で遊ぶ楽しさを教えていただきました。

4歳児…よく晴れてビジターセンターの散策・自然の中での遊びを楽しみました。小鳥のさえずり、爽やかな風を肌で感じました。

3歳児は5/26に計画しています。晴れますようにこの日は保護者会の定期総会も予定されています。



行く末は考古学者!?

園庭の片隅から年長男児たちのこんな会話が聞こえてきました。

K「この石、青みがかっていて綺麗だよ」

T「ほんとうだー」

K「あっ、これ!〇〇ザウルスの頭みたいだよ」

T「赤みがかった石みつけ」

K「すげー」

K「これはレンガのかけらだから、かけるんだよな」とコンクリートの壁に描く。

T「色水の中に入れるときれいなんだ」

K「そうだよな」と共感!

K「これ宝石みたいじゃない?タイガーアイだよ」

1cmにも満たない石の発掘作業に没頭中です!

それにしても、「青みがかった」「赤みがかった」という豊かな表現やタイガーアイという宝石を知っていること、色水に入れるとまた違って見えることなど語彙の豊富さや科学の芽に驚きました。きっと家庭でも使っているのかと察しました。

日々の遊びの中で、新しい発見がおもしろい!楽しい!と友達同士共感し合い、刺激し合い、学びを深めている過程で自己肯定感が高まっていることを感じます。